



令和2年度 卒業生進路状況

進路の全体状況

令和3年4月12日現在

進路 種別	学 科		情報電子			電子機械			情報処理			情報会計			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
	在 籍 数	0			0			0			0			0	
大学・短大	大 学	国公立	3	1	1	2	1	1			0			0	
		私 立	30	7	1	8	14		14	6	2	8			0
	短 大	国公立	0			0			0			0			0
		私 立	9	1		1			0		2	2		6	6
専修・各種	公 共 職 校	1			0			0	1		1			0	
	専 門 学 校	112	34	3	37	15	1	16	23	20	43	2	14	16	
就 職	民 間 企 業	95	22	2	24	33	2	35	3	16	19	4	13	17	
	公 務 員	一般職	0			0			0			0			0
		警察官	2	2		2			0			0			0
		消防士	0			0			0			0			0
		自衛官	7	3		3	3	1	4			0			0
	自営業・縁故	1			0	1		1			0			0	
そ の 他	進学未定	1			0			0	1		1			0	
	就職未定	0			0			0			0			0	
合 計		261	70	7	77	67	4	71	34	40	74	6	33	39	

令和2年度卒業生の大学進学者から「私の勉強法」という題で書いていただきました。新入学・新学期を迎えた今、先輩の勉強法を参考にして、自分に合った勉強法を探ってみましょう。

私の勉強法 家庭学習をした時間帯に注目！
情報電子科 石井翔陽（宇都宮大学工学部基礎工学科へ進学）



1年生の頃から大学進学を目標にしていました。したがって、私は1年生の時から、宿題は忘れずにこなして授業をしっかりと聞くよう意識していました。また、高い評定を取るためにテストには一層集中して取り組みました。テスト勉強として特にしたことはありませんでしたが、朝にその日の教科の勉強としてワークをノートにまとめたり、教科書や授業のノートを見返したりするようにしました。更には苦手意識のあった英語に慣れるために、部活では英会話部に入部して苦手を克服するようにしました。

2年時の勉強法も1年時とは大きく変わらず、最低限のことはしっかりやり高い評定をキープ出来るよう心掛けました。そして受験勉強を始めたのは冬頃からで、数学と英語の課外を受けていました。

3年生になってからは朝の勉強も始めました。大学の受験科目は数学・英語・物理・化学だったため、この四教科の問題を何度も解くようにしました。また、数学と英語の課外にプラスして化学と物理の課外も始めました。各教科の勉強法としては、数学は数Ⅰ・Ⅱ・A・Bの問題を何度も解きました。英語はセンター試験の問題のプリントを使って熟語や単語のボキャブラリーを増やしました。物理は授業では追いつかない範囲を個別で教わりました。化学はセンター試験の問題や問題集の問題を何度も解いてやり方を勉強しました。このように平日の放課後は課外授業を行い、家庭では、朝四時から勉強して時間を有効に使うようにして成績向上を図りました。



次は、高校3年間バレーボール部に所属し活動した先輩の勉強法です。
情報電子科 菅原雅矢（千葉工業大学先進工学部知能メディア工学科へ進学）

私が成績向上のために行ったことは、テストで高得点を取ることです。高得点を取るために、テスト勉強は1週間前から行いました。ワークや教科書の問題を何回も書き直して、わからなかった場所を理解できるまで行いました。また、テストの点数にもこだわり、80点を超えなかった教科を次のテストで重点的に勉強していました。

次に、進路実現のため高校1年生から様々な大学のオープンキャンパスへ行き、高校2年生の段階で、千葉工業大学へ進学することを決めました。それから進路活動を始め、指定校枠（学校推薦型選抜）がなかったため総合型選抜へ切り替えました。高校には希望している大学の資料がなく、過去問題など出題傾向がわからなかったため、担任の先生にハイスクールオンラインを使って全国の受験報告書から過去問題を探していただきました。それをもとに毎日プレゼンテーションの練習をしたことが合格に繋がりました。目標を早い段階で立て、実行することが進路実現に繋がっています。

3年間運動部でも、日々の授業を大切に目標をもって毎日過ごすことが進路実現につながっていくようですね。

昨年度の結果から<就職>

- ・一般就職においての不採用を経験した生徒は6名（令和元年度は20名）でした。職種にこだわってしまい、機会を逃してしまったケースがあります。また、会社見学の時点で企業から受験拒否された例もありました。
- ・保護者と本人の意見が合わなく、進学から就職へ、縁故就職の不採用から一般就職への変更などにより、進路先がなかなか決定されなかった例が複数件発生しました。縁故就職は慎重に進めなければならないでしょう。
- ・公務員については、自衛隊・警察官の合格のみでした。



昨年度の結果から<進学>

コロナの影響で、オープンキャンパスの日程、出願期間や受験会場・受験方法の急な変更がありました。それに対応するため、こまめに情報収集をすることが必要となります。



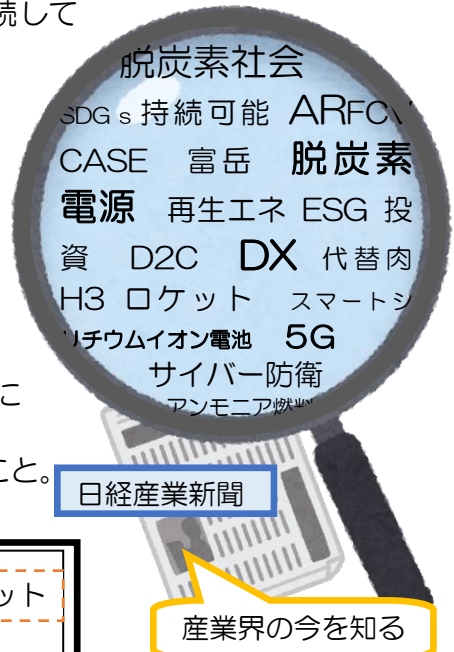
「進路の手引き」を活用しましょう

4月中に全生徒に配付します。就職・進学の心構えや職場見学、礼状の書き方、就職・進学試験、企業・大学等の面接質問一覧、作文・小論文出題例、R2卒業生の合格体験記などが掲載されています。3年間持っていることで、先輩方の3年分の受験報告を手に行っていることとなります。1・2年生にも知っておいてほしい内容です。配付されたら、興味をもって熟読してください。

進路指導室・資料室の利用について

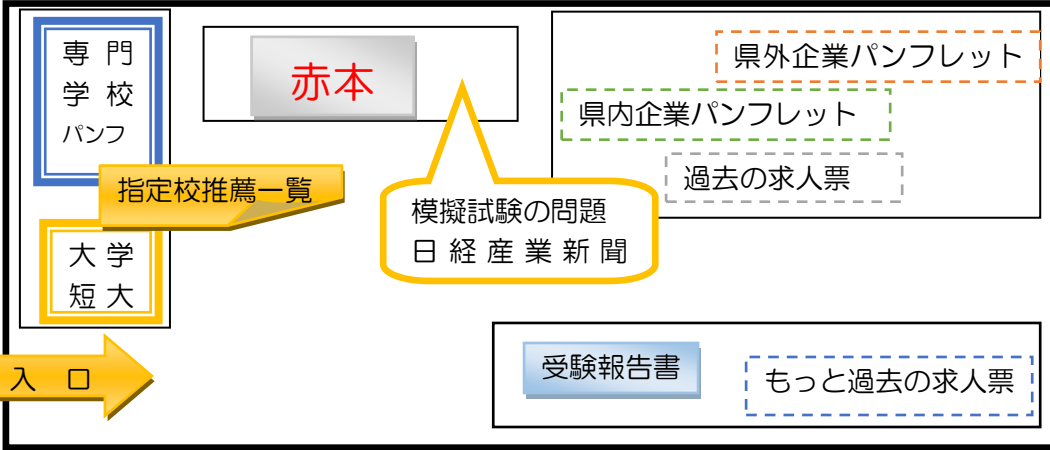
- ①進路指導室に入退室する際、正しい服装・礼法（挨拶・用件等）をしっかりと行うこと。入室の際は、担当の先生に断ってから入室すること。進学関係の相談は西側のドア、就職関係の相談は東側のドアから入室すること。
- ②進路資料室には進路室の先生の許可を得てから入室すること。室内での飲食は絶対しないこと。資料は貸し出し可能なもの以外は、絶対に持ち出さないこと。また、閲覧資料は丁寧に取り扱い、必ず元の場所に戻すこと。
- ③両室とも貸し出しを希望する資料等があれば、担当の先生に申し出ること。

↓進路資料室の配置↓



日経産業新聞

産業界の今を知る



資料室には、企業のパンフレット、過去の求人票、大学・専門学校等のパンフレット、指定校推薦一覧、日経産業新聞のバックナンバーなど、進路に関する資料を閲覧できます。特に、「日経産業新聞」は今のトレンドを知る有力な手掛かりの一つです。自分の将来を考えてどの道で活躍したいかを考えるきっかけにしてください。

3年生の各教室、進路指導室に受験報告書が置いてあります。印刷は進路指導室まで来てください。

進路指導室の配置・担当者

堀内 功 (進学)	石井 克明 (公務員)		保科 友孝 (インターンシップ)	アドバイザー 渡邊 正昭 (就職)
大場 幸子 (進学)	舩山 卓也 (就職)	荒 敏子 (就職)	進路指導主事 関根 宏 (就職・進学)	

